

第8回

Webプログラミング(PHP)

吉澤 和香奈

array_splice

- 配列の一部を削除し、他の要素で置換する
- `array_splice(array $処理する配列, int $何番目か, int $切り取る個数)`
- `return`は切り取った値が`array`で返ってくる

逆順ループ

- 0から昇順で処理したい場合
 - `for($i = 0; $i < $max; $i++) {}`
- 最大値から降順で処理したい場合
 - `for($i = $max; 0 <= $i; $i--) {}`

カートの中身を削除

- `shop_cartlook.php`にチェックボックス追加(p212)
- `kazu_change.php`にチェックボックスが`true`の場合配列から削除(p216)

品質向上①

- `shop_cartlook.php`にてカートが空っぽのときのWarning(前回対応済&p219&p221)
- githubの参考ソースは配列初期値空にし`$max`に0を入れるのではなく`count()`の0を取得する、フッターを表示したいので空の場合`exit()`;で強制終了しないなどしています、`exit()`;で強制終了する書き方は良くないので余裕がある方はgithubのほうを参考に見て下さい
- 同じ商品をカートに入れさせない(p223)
 - `exit()`;で強制終了する書き方は良くないので`$flag`変数で回避しています

in_array

- 配列に値があるかチェックする
 - `in_array(mixed $探す, array $探される)`
 - `return`は`boolean`が返ってくる
 - 見つかった場合`true`
 - なかった場合`false`

品質向上②

- 数字以外はエラーを出す(product_add_check.phpと同様の判定&p225)
- 1から10の範囲以外はエラーを出す(p226)
 - exit();で強制終了する書き方は良くないので変更前と同じ数字を入れてエラーを\$_GETパラメーターに持たせています
- カート一覧をテーブルで囲い見栄えを良くする(p227)

str_replace

- str_replace(mixed \$リプレース前の変数, mixed \$リプレース後の変数, mixed \$リプレース処理する変数)
- 返り値は置換後の文字列あるいは配列
- 4個目の引数を足すと置換数が取得できる
- リプレース前の変数とリプレース後を配列で処理する場合は同じ要素数
- 大文字小文字区別せず置換するstr_ireplace()という関数もある

<table>

- <th>と<td>の違い
 - thは見出しで中央揃い
 - tdは通常文で左揃い
- cssでボーダーを実装する場合
 - table, td, th{border: 1px solid black;}
 - と、
<table border="1">
 - で同じ実装になる

注文フォーム作成

- shop_cartlook.phpに注文リンク追加(p231)
- shop_form.htmlを作成(p232)
 - メールフォームを作成します
- 時間が余っている方は、フォームのCSSデザインを検索しているといじってみて下さい